

CABLINE®-UX II Connector

Plug: 20531 Receptacle: 20533

Instruction Manual

5	S21160	April 8, 2021	A.Koyanagi	T.Tanigawa	H.Ikari
4	S18172	March 9, 2018	R.Hoshino	S.Kawamura	M.Takemoto
3	S16237	April 26, 2016	R.H		K.N
2	S15444	September 23, 2015	S.K		Tom
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社、CABLINE-UX II Connector の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的としコネクタの挿入・抜去の
手順及び注意点を記述致します。

【コネクタ挿入手順】

1. ケーブル側コネクタの保持方法

図. 1 のようにケーブル側コネクタのケーブルを持ちます。

(図. 2 のように持つと、ケーブルに過度の力が加わる為、持たないようにお願いします。)

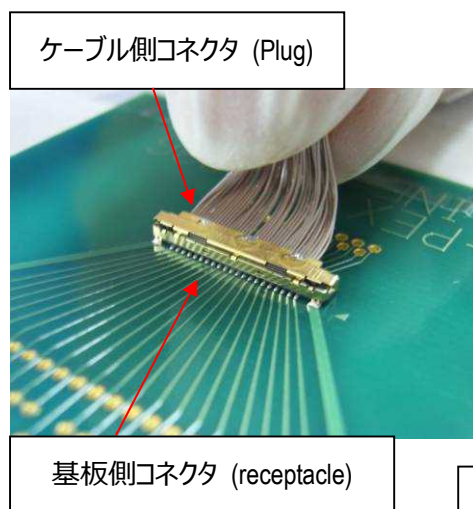


図.1

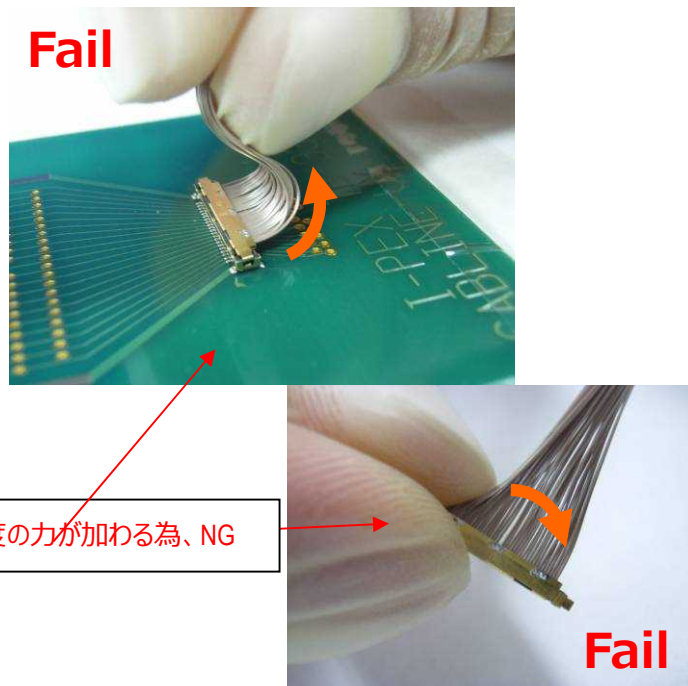


図. 2

2. ケーブル側コネクタのセット方法

図. 3, 4 のように、基板側コネクタの反基準 pin 側にケーブル側コネクタのケーブルがくるように、セットします。

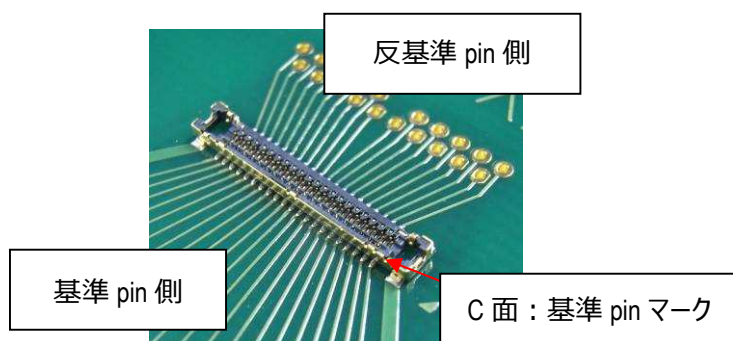


図. 3 基板側コネクタ

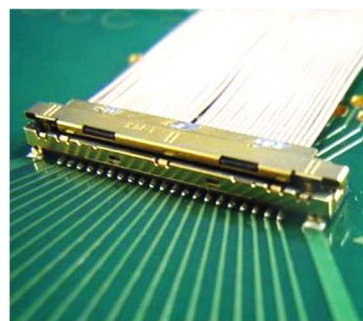
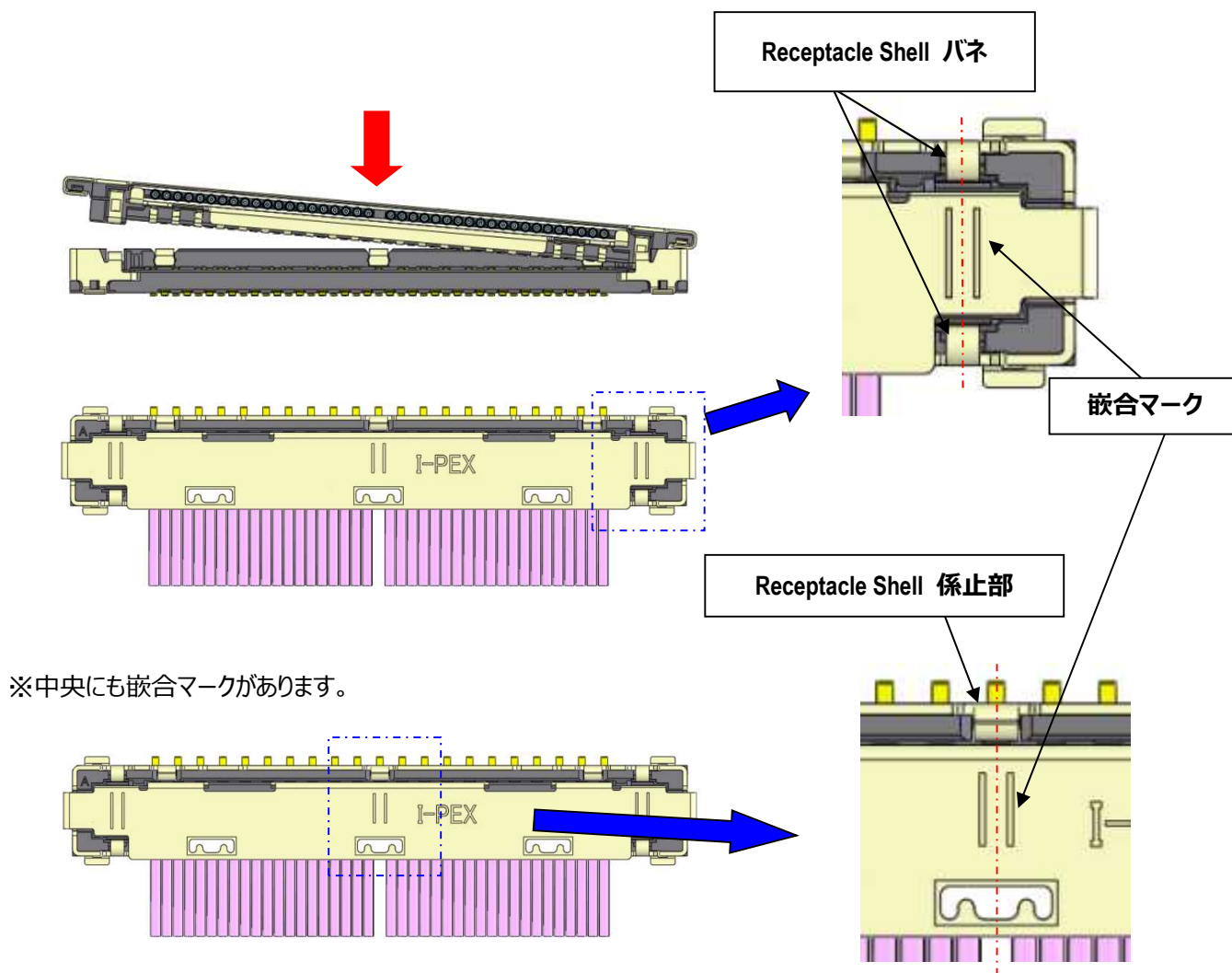


図. 4 セット方法

コネクタセット方法

メタルカバー両サイドにある嵌合マークを Receptacle Shell バネ(係止)に合わせた状態で仮挿しを行って下さい。
 (※真直ぐに押せば両側が同時にガイドされます)



※中央にも嵌合マークがあります。

コネクタセット完了状態

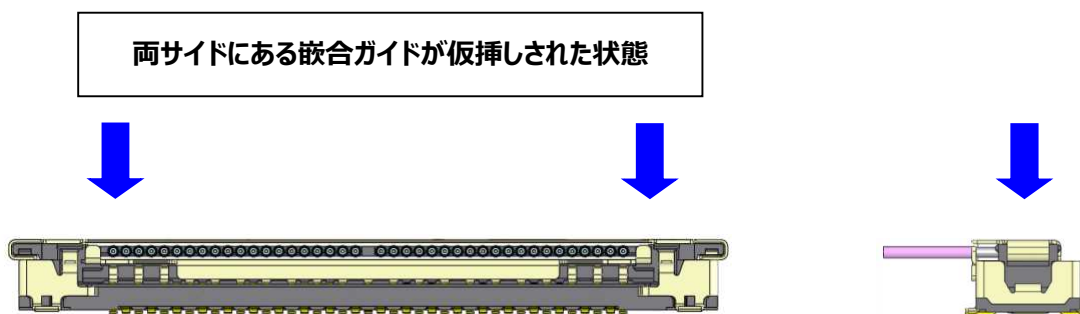


図.5 コネクタセット方法

3. 嵌合方法

図. 6 のように、プラグコネクタの両端 2 箇所を、爪でリセコネクタとプラグコネクタの上面が同面になるまで真上から押します。
 挿入後にプラグの浮きがある場合は、浮いた箇所を爪でリセコネクタとプラグコネクタの上面が同面になるまで真上から押して下さい。

図. 7 のようにプラグコネクタのセンター付近のみを、指の腹の部分で押し込まないで下さい。



図.6 正常嵌合

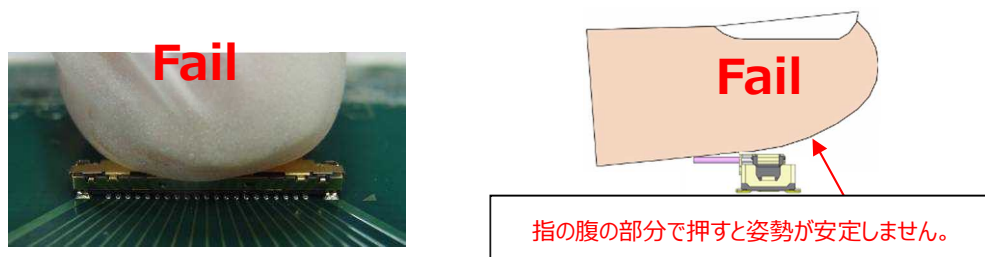


図. 7 異常嵌合

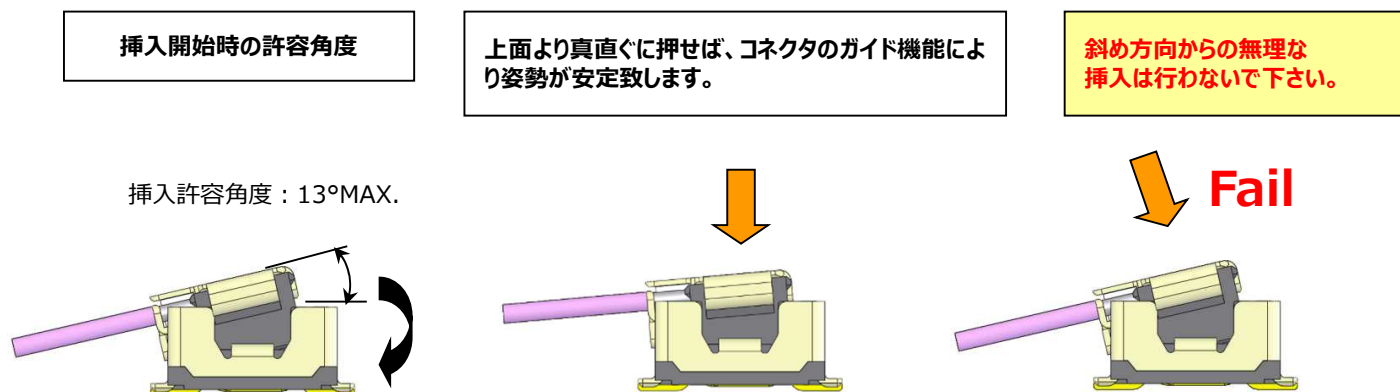
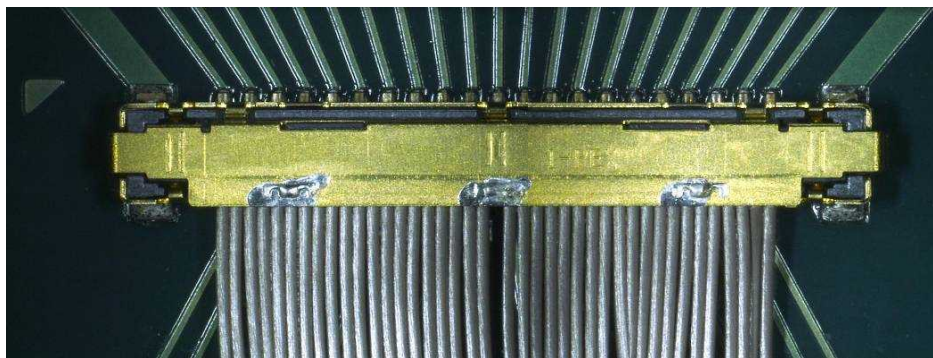


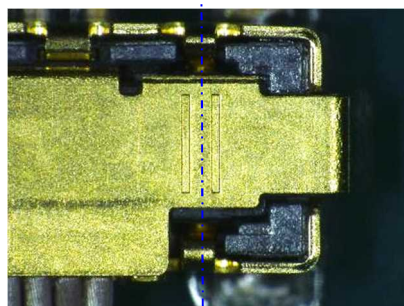
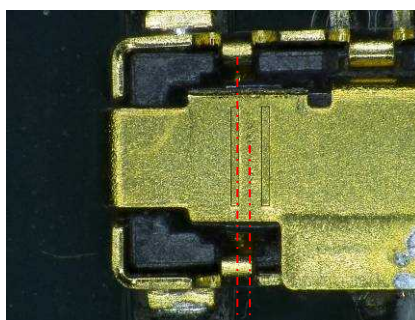
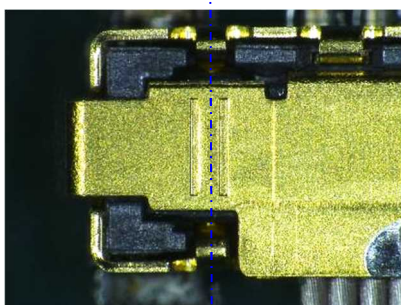
図.8 嵌合時の注意事項

嵌合状態確認

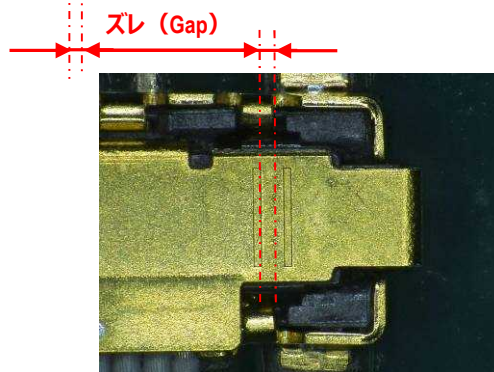


嵌合状態

ピッチ方向確認

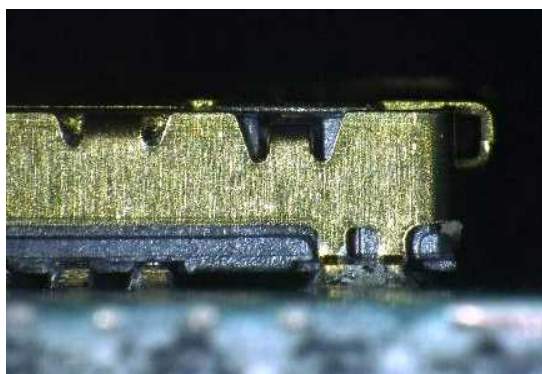


正常嵌合

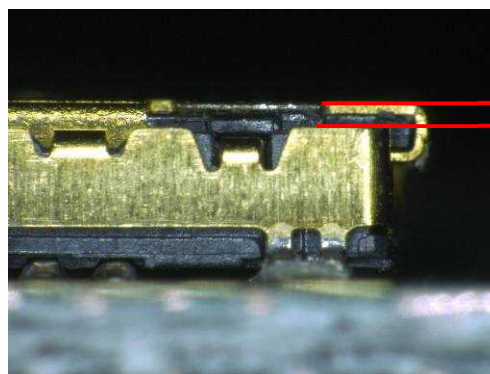


Fail : 異常嵌合

高さ方向確認



正常嵌合



Fail : 異常嵌合

片側挿入の場合

- ・コネクタ嵌合時、挿入許容角度は下図（図.9）の通りです。コネクタをセットした時に許容角度を超えた状態でケーブル側コネクタを強く押し込まないでください。

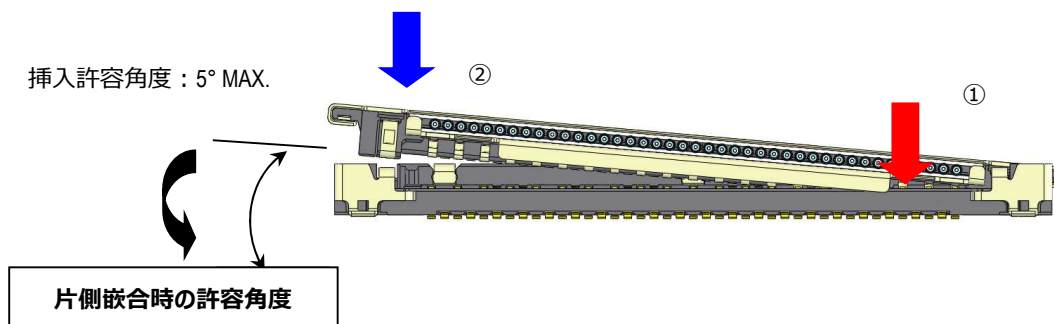


図.9 片側挿入時の注意事項（挿入許容角度）



図.10 嵌合完了状態

注意事項

- ・ケーブル側コネクタの押し込みにより基板の変形が生じないように、基板の下には受けを設けてください。
- ・治具で嵌合する場合は、下記条件（表.1）でコネクタ上面全体を押すようにしてください。

表.1 嵌合力

極数: Pos.	荷重:Load (N)	上面の面積: Upper Area (mm ²)
30P	26.4~50.0N	20.1
34P	27.6~50.0N	21.8
40P	29.4~50.0N	24.4
50P	32.4~50.0N	28.7

【抜去 JIG について】

抜去を行う際、ケーブルコネクタ首部へのストレスを避ける為、下図形状の様な JIG（図.12）を御使用下さい。ケーブル側コネクタには JIG 専用の引掛け形状が設置されています。（図.11）

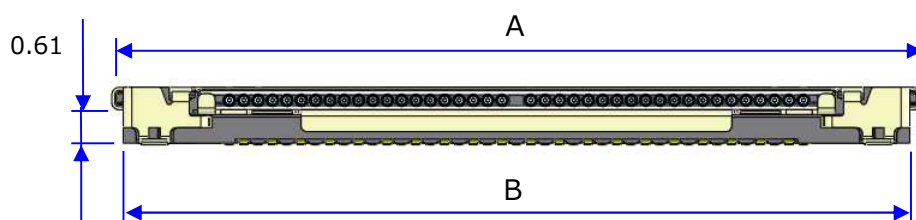


表.2

極数 Pos.	A	B
30P	11.6	11.2
34P	12.6	12.2
40P	14.1	13.7
50P	16.6	16.2

図.11 抜去 JIG 引っかけ形状配置図

【片側抜去 JIG について】

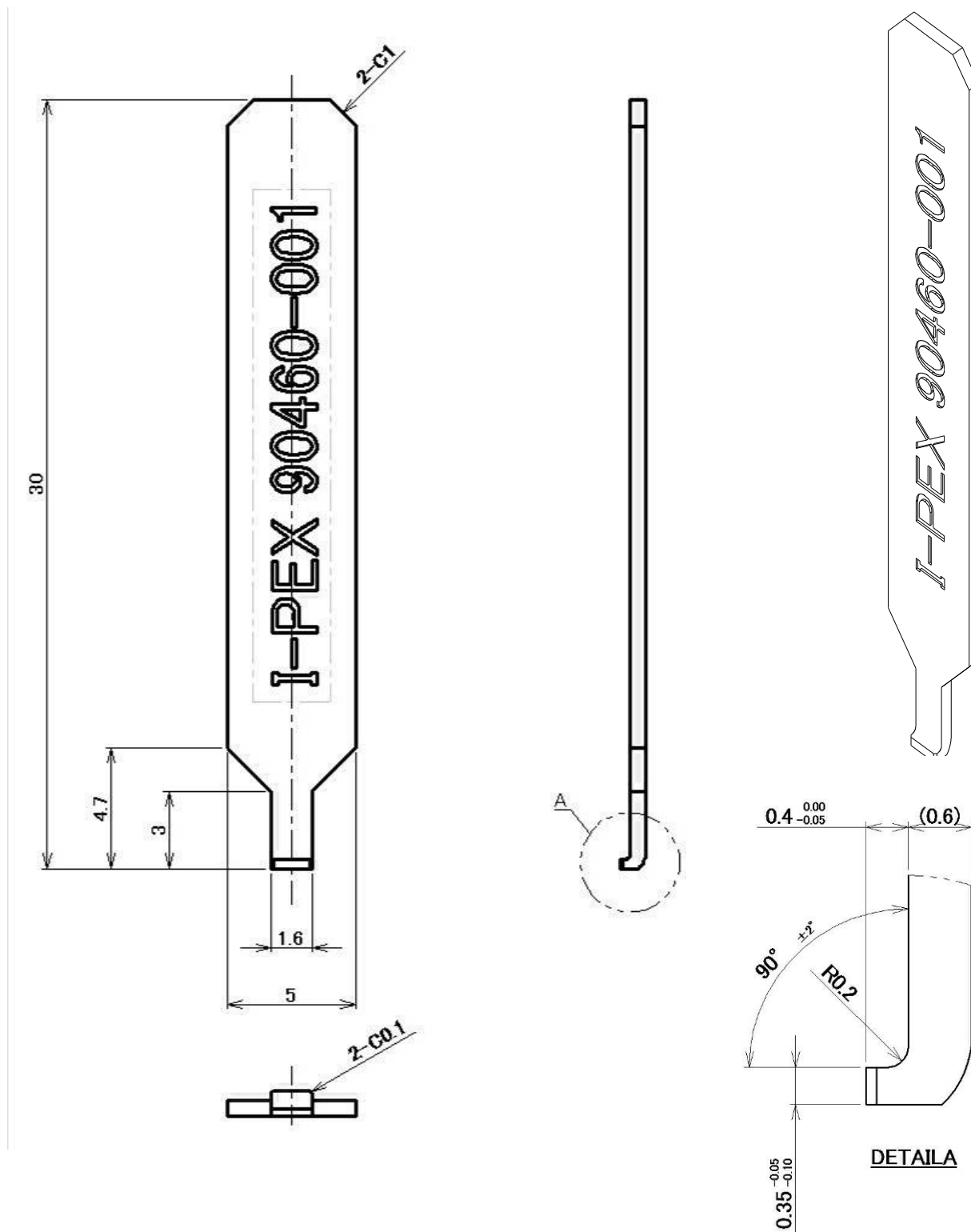


図. 12 片側抜去 Jig (P/N:90460-001)

【コネクタ抜去手順】

(1) 手順 1

- ① コネクタサイドから治具を基板と平行にスライドさせてコネクタへセットします。(図. 13a)
- ② 基板と垂直に治具を引き上げコネクタの片側を引き上げます。(図. 13b)

(2) 手順 2 (仮に逆サイドが抜けない場合において)

- ③ 同様にコネクタ逆サイドから治具を基板と平行にスライドさせてコネクタへセットします。(図. 13c)
- ④ 同様に基板と垂直に治具を引き上げコネクタの片側を引き上げます。(図. 13c)

手順 1

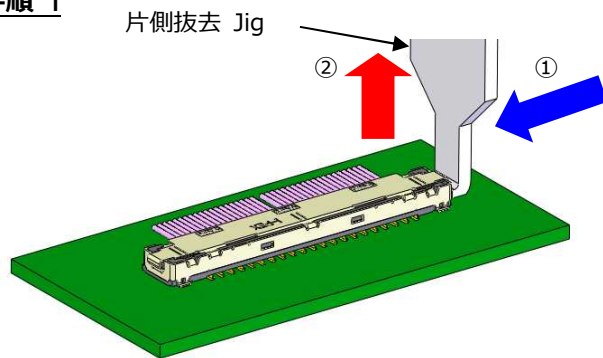
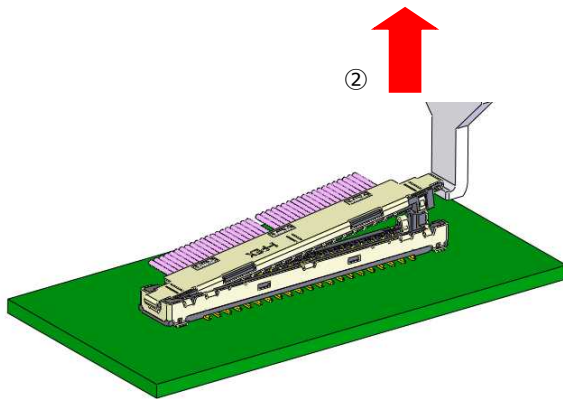


図. 13 a



片側の Lock が解除されたら
反対側も同様に引き上げて下さい。

Fail

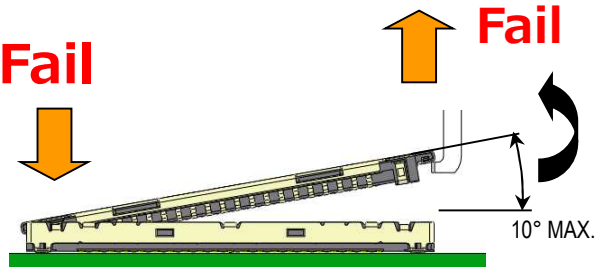


図. 13 b



手順 2

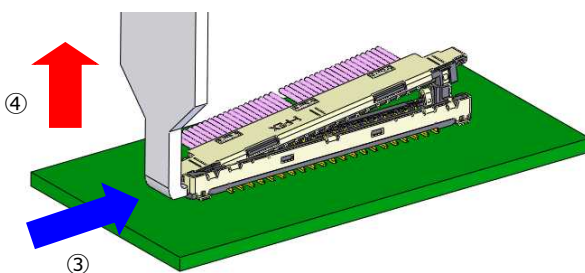
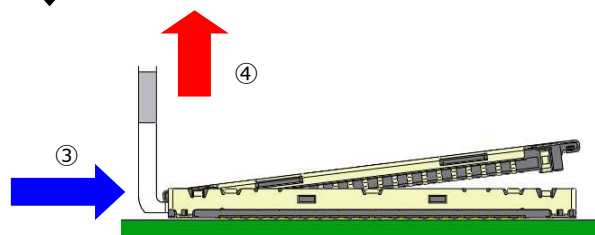


図. 13 c



【コネクタ取り扱いの注意】

- ・図 14 のようにケーブルを引っ張り上げ、コネクタの抜去を行わないでください。
- ・治具は必ず基板と垂直に引き上げてください。
- ・プラグコネクタを抑えながらの抜去は禁止。
- ・治具を使用せず手（爪）で抜去しなければならない場合は、治具と同様の方法にて抜去してください。

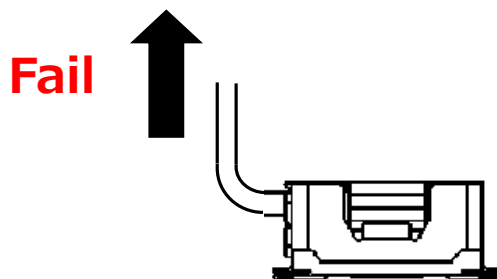


図. 14

- ・ケーブルコネクタの取り回しの際には特定のケーブルに引っ張り力が集中しないように配慮ください。
- ・コネクタのケーブル取り付け部に引っ張り力及び繰り返し変位が加わらないように配慮ください。

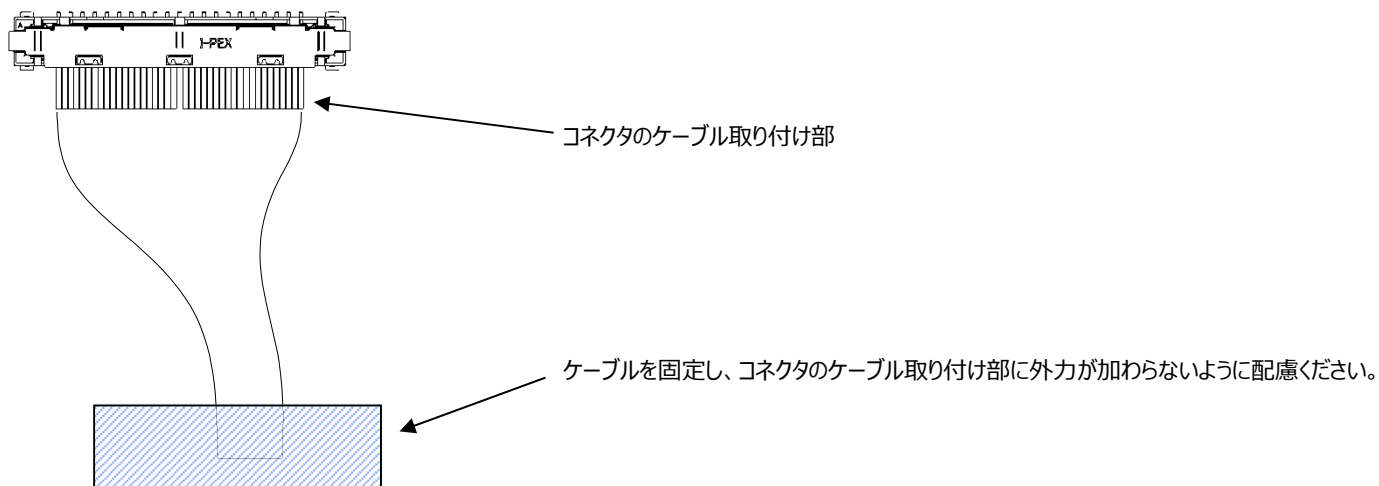


図. 15

・図. 16 のように、矢印方向に常に力が加わるようなケーブルの引き回しを行うと、嵌合外れやコネクタの破損等の恐れがありますので、ご注意願います。

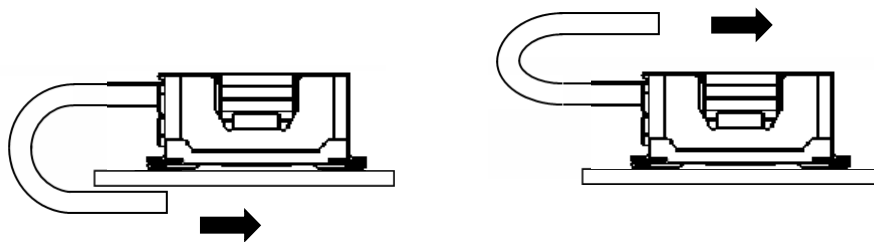


図. 16

・嵌合状態のコネクタ抜け止め荷重（筐体で押さえる荷重）につきましては、下記条件でコネクタ上面全体を押えるようにしてください。
抜け止め荷重：0.5N / Pin MAX.

表. 3 コネクタ抜け止め荷重

極数: Pos.	荷重: Load (N)	上面の面積: Upper Area (mm ²)
30P	15.0N MAX	20.1
34P	17.0N MAX	21.8
40P	20.0N MAX	24.4
50P	25.0N MAX	28.7

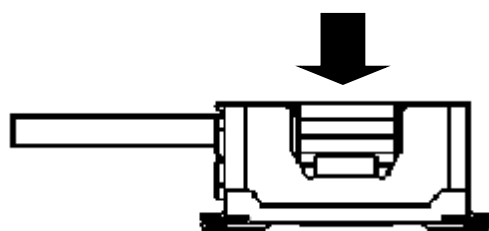
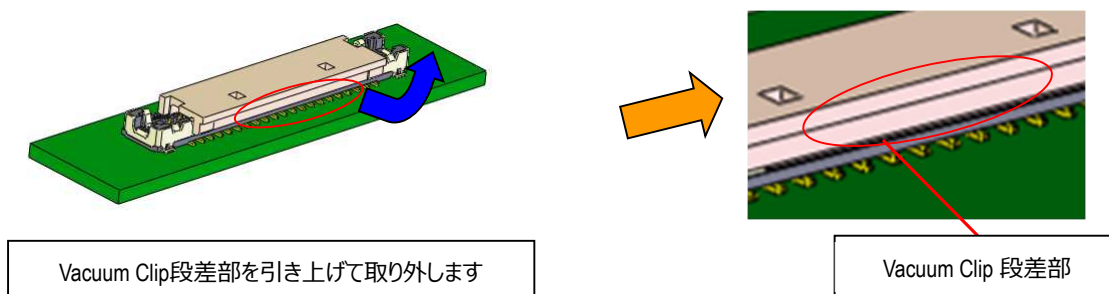


図. 17 嵌合状態での筐体押さえ荷重

・Vacuum Clip を取り外す際は図 18 の様に外して下さい。



Vacuum Clip段差部を引き上げて取り外します

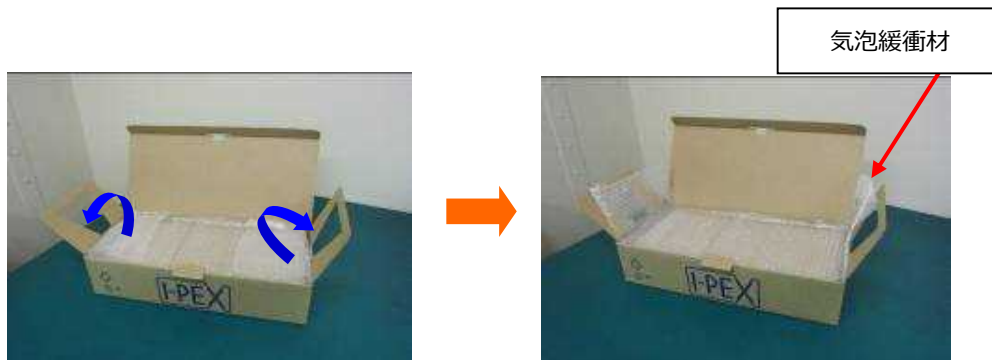
Vacuum Clip 段差部

図. 18 Vacuum Clip 取り外し方法

【開梱時及び梱包時の取り扱い注意及び手順】

※ 製品を破損させる恐れがありますのでご注意ください

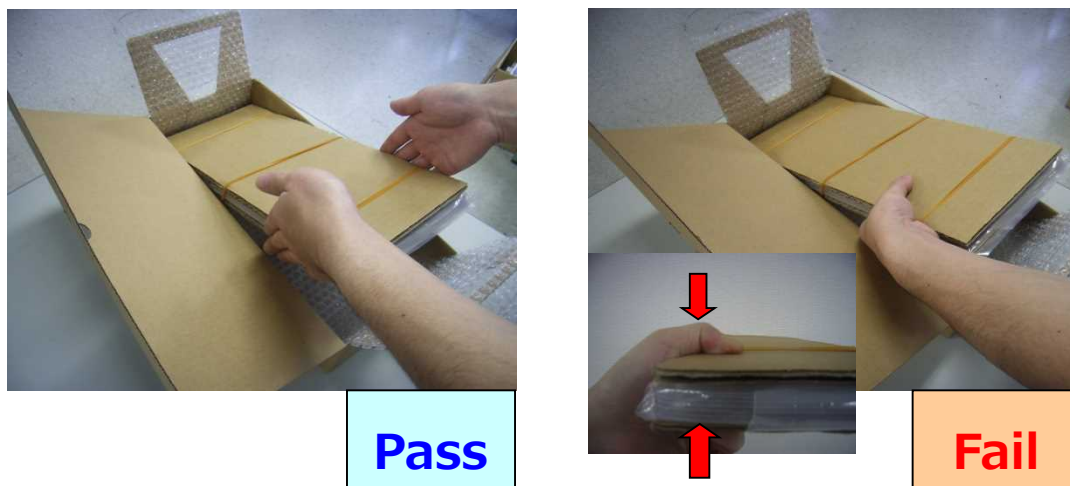
① 最上面に畳まれている気泡緩衝材を開きます。



② 畳まれている気泡緩衝材を引き上げ、カートンから取り出します。



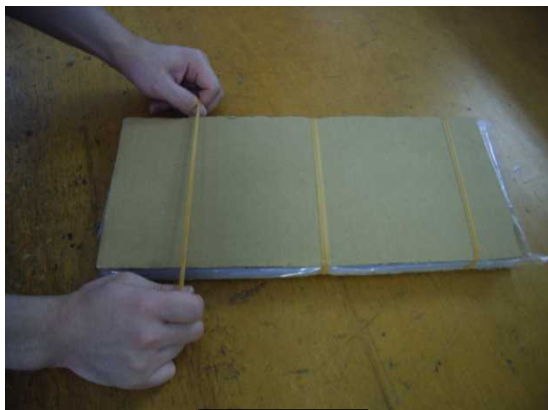
③ 内装カートンからの取り出し方法



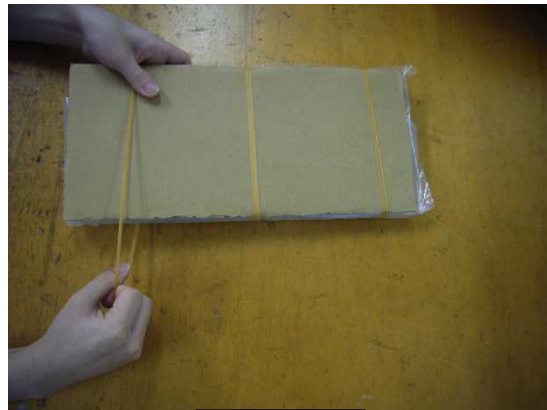
※開梱時のトレー厚さ方向への負荷にご注意ください。

※トレーをカートンに戻す場合は、梱包材を元の状態へ戻してください

④ ゴムバンドの外し方



Pass



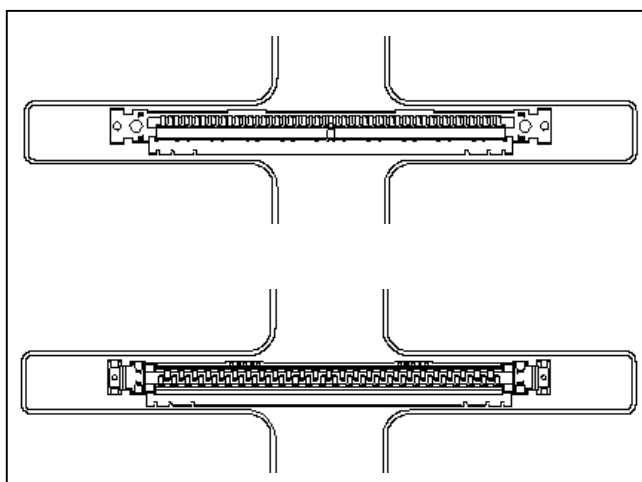
Fail

※開梱時、トレーを挟み込んでいるゴムバンドを外す際の衝撃にご注意ください。

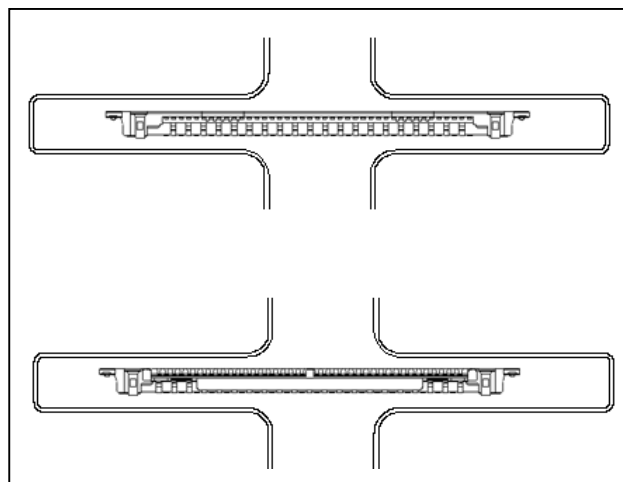
梱包時の注意

製品の入っているトレーに再度トレーを重ねる際は、下側のトレーに入っている製品の向きにご注意ください。

(正常にポケット内に入っているかも併せてご確認ください)



Pass



Fail